

(5) 申告書、種類別明細書の書き方

償却資産申告書の記載例

令和 6 年 1 月 15 日  
受付印 (宛先) 静岡市長  
令和 6 年度 ( 葵 区課税分)  
償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

1 住所 (ふりがな) 静岡市葵区追手町 5 番 1 号 (電話 054-254-△△△△)	3 個人番号又は法人番号	8 短縮耐用年数の承認	9 増加償却の届出	10 非課税該当資産	11 課税標準の特例	12 特別償却又は圧縮記帳	13 税務会計上の償却方法	14 青色申告
2 氏名 (ふりがな) 静岡 株式会社 代表取締役 葵 太郎 (屋号 SHIZUOKA)	4 事業種目 (資本金等の額) 木材加工用機械製造 (百万円)	5 事業開始年月 昭和 4 年 1 0 月	6 この申告に 応答する者 の係及び氏名 駿河 一郎 (電話 054-221-××××)	7 税理士等の氏名 駿河 一郎 (電話 054-221-××××)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

資産の種類	取得価額				15 市(区)町村内 における事業所 等資産の所在地
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)	
1 構築物	50,125,000	875,000		49,250,000	① 静岡市葵区追手町△番〇〇号 ② 静岡市 葵区東瀬名町△番〇号 ③ 静岡市
2 機械及び装置					
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	7,742,000	632,000	2,984,000	10,094,000	
7 合計	57,867,000	1,507,000	2,984,000	59,344,000	

資産の種類	評価額 (ホ)	決定価格 (ヘ)	課税標準額 (ト)	16 借用資産 貸主の名称等 (有)・無 償却リース(株)、固定リース(株)	17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家	18 備考 該当する番号に○印をつけてください。
1 構築物						1. 前年中資産の増減なし 2. 該当する資産なし 3. 全資産削除 4. 廃業・解散・転出等 (平成・令和 年 月 日) 5. その他
2 機械及び装置						
3 船舶						
4 航空機						
5 車両及び運搬具						
6 工具、器具及び備品						
7 合計						

<1.住所>  
住所(又は納税通知書の送付先)および電話番号を正確に記入してください。

<2.氏名>  
個人の場合、署名をしてください。法人の場合、名称及び代表者氏名を記入してください。  
※どちらの場合も、屋号がある場合は記入してください。

(イ)~(ニ)はすべて種類ごとに記入してください。  
(イ)前年前に取得した資産の取得価額の合計額  
※申告もれ等の資産を除いた金額を記入してください。  
(ロ)前年中(令和5年)に減少した資産の取得価額の合計額  
(ハ)前年中(令和5年)に取得した資産の取得価額の合計額  
(ニ)(イ)(ロ)(ハ)によって算出された取得価額の合計額  
※申告もれ等の資産(ロ・ハに記入)も含めた金額を記入してください。

(ホ)(ヘ)(ト)欄は記入する必要はありません。  
ただし、電算処理による全資産申告をされる方は記入してください。

<整理番号>  
独自で作成した申請書で提出する場合は、整理番号の転記を忘れずにお願いします。

<3.個人番号又は法人番号>  
記入してください。申告にあたっては17ページを参照してください。

<4.事業種目>  
具体的に記入してください。  
<5.事業開始年月>  
静岡市内で事業を開始された年月を記入してください。

<6.この申告に回答する者の係及び氏名>  
直接回答できる方の氏名及び電話番号を記入してください。

<7.税理士等の氏名>  
税理士等に委託し作成した場合、その氏名及び電話番号を記入してください。

<8~14.>  
該当する方に○をつけてください。  
※8~11.に有に該当する場合は、別途提出書類がありますので、「申告の手引」14ページをご覧ください。

<15.市(区)町村内における事業所等資産の所在地>  
区内の資産所在地を記入してください。  
2箇所以上ある場合、それぞれ記入し、主な番号に○をつけてください。  
※所在地が印字されている場合で、内容に修正がある時は二重取り消し線で修正してください。

<16.借用資産>  
借用資産(リース資産)の有無について該当する方に○をつけてください。  
※有の場合は、貸主の氏名、名称等を記入してください。

<17.事業所用家屋の所有区分>  
該当する方に○をつけてください。

法人は決算月を記入してください。

<18.備考>  
該当する項目に○をつけ、必要事項を記入してください。

- 1 ... 増減がない場合
  - 2 ... 該当する資産がない場合
  - 3 ... 申告すべき資産が本市区内になくなった場合
  - 4 ... 廃業、解散、転出した場合(その年月日も記入)
  - 5 ... その他休業や事業継承等(その年月日も記入)
- 申告について参考となる事項  
(相続があった場合)  
その他記入枠に、  
「〇年△月 被相続人□□□□から相続」と記入